

# 埼臨技だより



発行所 公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会 〒330-0072 さいたま市浦和区領家7-14-7  
TEL 048 (824) 4077 FAX 048 (824) 4095 URL:<http://www.sairingi.com/>  
携帯URL:<http://www.sairingi.com/keitai/index.html> Twitter : @sairingi

## 平成29年度 第2回検査室運営研修会 【医療安全研修会】が開催される!!

検査室管理運営委員会主催の、平成29年度第2回検査室運営研修会が、去る2月20日(火)19時より大宮ソニックシティ602号室において開催された。

今回講師には、医療安全の分野で活躍中の長谷川剛先生(上尾中央総合病院 院長補佐 兼 情報管理部長)をお招きし、“最新の医療安全について学ぼう!!” 最近の医療安全の考え方;レジリエンスの実践について!! ~今までと違う医療安全の考え方を学ぼう!!~ をタイトルにご講演頂きました。前週の天気予報で研修会予定日は雪予報で主催者として気を揉みましたが、当日は天候にも恵まれ、参加者も施設会員63名・賛助会員1名で医療安全に対する皆様の関心の高さが窺えた。



講演は、冒頭より国内最大級の医療事故(患者取違い事例)の再現アニメーション動画や、注射の誤投与・病理検体の取違い事例の再現フィルムなどを交えた分析から始まり、医療安全の基本(ヒューマンエラーと違反)についての解説、従来の医療安全の定義(安全I)の基本的な考え方・内容、最後にレジリエンス...医療安全に関する新しい考え方・定義(安全II)へと進んでいった。会場の参加者を飽きさせないような先生の話術・スピーディーな展開で予定時間の1時間30分を大きくオーバーするまで医療安全について熱く語られ、盛会のうちに研修会は終了となった。

従来の安全の定義(安全I)は失敗を減らすため、受け入れがたいリスクを有していないこと、新しい安全の定義(安全II) レジリエンスの実践は成功を増やすため、いかなる状況でも物事を上手く運ぶ調整能力向上が必要であること。しかし、レジリエンスを活かすためには、標準手順が確立されノンテクニカルスキル(従来の医療安全の考え方)が獲得されていることが前提条件として必要である。

今回の講演で非常に多くのことを学びましたが、一番心に残ったフレーズは、“自分で判断し臨機応変に対応する!!”でした。そのための調整能力(対処できる能力・監視できる能力・予見出来る能力・学習する能力)の向上が失敗を減らし成功を増やすカギであることを学びました。管理者としては生産性・効率性を優先する圧力の下で、安全性の確保や現場の努力を支援するなど、職場環境の整備に尽力することが重要だと感じました。

昨今、医療安全の意識も高まり、安全Iの考え方・整備が整っている状況ですが、それでも医療

事故は起こってしまう現状です。参加者の皆様が今回の研修で学んだ“最近の医療安全の考え方；レジリエンスの実践ついて!!”を各々の施設に持ち帰り、少しでも失敗を減らし成功を増やすことで、患者支援に役立たせることを祈念いたします。

追記・・・今回の研修会に参加して、昨年の秋に埼玉県で開催された、第54回日臨技関甲信支部・首都圏支部 医学検査学会のテーマ“臨機応変”の記憶が思い出されました。学会長が「臨（床検査技師）が、変（化）に、応じなければならない機が来ている」と読ませる・・・と熱く語っていたあの時をあらためて思い返させる今回の研修会でした。

（文責：藤井豊善）

## 第46回 埼玉県医学検査学会情報

開催日：平成30年12月2日（日）

会 場：大宮ソニックシティ

テーマ：『拓く』

サブテーマ：～手を広げ、見て、聞いて、知って、覚えて、繋がって～

第46回 埼玉県医学検査学会  
事務局長 阿保 一茂

第46回埼玉県医学検査学会にて事務局長を務めさせていただき、さいたま赤十字病院の阿保一茂と申します。厳しい寒さが続き、インフルエンザが猛威を振るった今年の冬でしたが、このご挨拶を皆様にご覧いただける頃には寒さも緩んでいることと思います。昨年11月の第1回実行委員会で初めて顔を合わせた実行委員のメンバーも、定例の会議、賀詞交歓会、定例の意見交換会（非公式）を経てより活発な協議を行えるようになってきたと思います。現在は学会のテーマ『拓く』とサブテーマ「～手を広げ、見て、聞いて、知って、覚えて、繋がって～」に沿った企画内容を皆で知恵を出し合い検討を進めております。内容が決まり次第学会ホームページ等でご紹介させていただければと思います。また、学会運営に関しても、より快適に参加していただけるよう新しい試みを含めて協議を重ねております。臨床検査技師を取り巻く環境は急激に変化しており、私たちはそれに対応していかなければなりません。参加された皆様の未来に繋がる学会となりますよう努力して参ります。会員、賛助会員の皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。



第46回 埼玉県医学検査学会  
実行委員 急式 政志

第46回埼玉県医学検査学会にて学術担当を務めさせていただき、埼玉県立小児医療センターの急式政志と申します。市民公開講演やサブテーマ「～手を広げ、見て、聞いて、知って、覚えて、繋がって～」に沿った学術企画、一般演題などの円滑な準備・運営に貢献できたらと思っております。またこの度、本学会のロゴ作成にも携わらせていただきました。ロゴデザインにあたり、大小様々なサイズで使用しても判別できるよう、できるだけシンプルなロゴの作成を心掛けました。シンボルは学会のテーマ『拓く』からイメージし、扉が開かれるデザインとしました。扉の色は学会カラーのオレンジ色（アマリリス）、扉の向こう側は変化をしながらも臨床検査の明るい未来をイメージし、黄色のグラデーションとしました。本学会がこのロゴのように、参加された皆様の扉を拓くきっかけとなりましたら幸いです。現在は、実行委員のメンバーと協力しながら魅力的な企画を検討しておりますので、皆様のご参加を心よりお待ちしております。どうぞよろしくお願い致します。

## 各研究班の研修会報告を致します。

### テーマ 輸血用血液製剤・輸血セット・カリウム吸着フィルター取り扱い方法の基礎の基礎

主催 輸血検査研究班

実施日時：平成30年 1月24日 19時00分～20時30分

会 場：大宮ソニックシティ 601号室 点数：基礎教科-20点

講 演 1：輸血血液製剤取り扱いマニュアルについて

講 師：松田充俊（埼玉県赤十字血液センター学術課）

講 演 2：輸血セット

講 師：西條真理奈（テルモBC T株式会社）

講 演 3：カリウム吸着フィルターについて

講 師：石黒 亮（川澄化学工業株式会社）

参加人数：会員83名 賛助会員1名

出席した研究班班員：山田攻 渡辺一儀 神戸考裕 長谷川卓也 佐藤祥子 久保居由紀子  
野呂光恵 小林真弓

#### 研修内容・感想など

講演1は製剤の取り扱い方、使用にあたっての注意事項、実際の輸血方法（輸血セットの種類）などの内容であった。基礎からしっかり学ぶことができた。血小板製剤による細菌感染症例についても触れられ、医療機関での外観チェックの重要性をあらためて実感した。講演2は輸血セットの構造や輸液セットの違い、輸液ポンプについての説明であった。実際に検査技師が輸血セットを扱う機会は少ないが、現場から質問を受けることは多いと思われる。今回の講演では現場でよくある質問についても触れられていたため今後に生かしていきたい。

講演3はカリウム吸着フィルターの構造、フィルターの適応、使用方法について解説していただいた。カリウム吸着フィルターの使用方法については実際の映像を見ながら学ぶことができた。

（文責：小林真弓）

### テーマ いまさら聞けない『リン脂質抗体症候群』 ～ 診断の現状と今後の展望 ～

主催 血清検査研究班

実施日時：平成30年 1月25日 19時00分～20時20分

会 場：大宮ソニックシティ 905号室 点数：基礎教科-20点

講 師：金田 誠（MB L株式会社）

参加人数：会員26名 賛助会員3名

出席した研究班班員：鈴木淳子 鯨井智子 多川裕介 天野直樹 岩崎篤史 庄司和春

#### 研修内容・感想など

今回は、金田氏からリン脂質抗体症候群（APS）に関する講演をしていただいた。リン脂質抗体症候群とは、抗リン脂質抗体の出現とそれに伴う動脈・静脈血栓症、習慣流産・胎児死亡を臨床症状とする自己免疫疾患である。1997年のデータで受療患者数は3700人（10万人に3.04人）であり、男女比は1：6.4、平均年齢は $40.8 \pm 13.4$ 歳、発症のピークは20歳代前半（女性）となっている。また、頻度別の臨床症状としては、20%以上の頻度のものは、流産・子宮内胎児死亡、静脈血栓塞栓症、血小板減少症、片頭痛などあるが、10%未満の頻度の症状としてはてんかん、舞踏病、一過性黒内障、下肢皮膚潰瘍、骨壊死、腸間膜虚血など多彩な症状を呈することがある。したがって、いろいろな診療科に初診で訪れる可能性があるとのことであった。これら症状の原因は主に血栓傾向によるものである。

検査項目（APS患者における陽性率）には、ループスアンチコアグラント（45%）、IgG抗カルジオリピン抗体（62%）、IgM抗カルジオリピン抗体（37%）、抗カルジオリピン・ $\beta_2$ -GPI（52%）がある。ループスアンチコアグラント（LA）とは、個々の凝固因子の活性を抑制することなしに、リン脂質依存性の凝固検査を種々の程度に阻害する免疫グロブリンである。LAは希釈ラッセル蛇毒試験（dRVVT法）やaPTT法において異常の場合、正常血漿混合試験を行い凝固時間が補正されなければ、リン脂質依存性の確認試験を行って陽性ならばLA陽性となる。また、抗カルジオリピン抗体には種類があり、対応抗原がカルジオリピンの場合とカルジオリピン・ $\beta_2$ -GPI複合体がある。リン脂質抗体の対応抗原はカルジオリピンだけではなく

ホスファチジルセリンやエタノールアミンなどもあり、これらに対する抗体を持つ場合も少なくない。

APSを呈する基礎疾患として多いのはSLEであるが、それ以外の膠原病（SSc、SS、DM、MCTDなど）でも認められる。

最後に抗リン脂質抗体測定標準化についての話があった。LA部会がLAテストの標準化として、LAテスト陽性コントロールによる補正（231D補正）を提唱しているとの事であった。これは、MBL社のLAテスト陽性コントロールのRatioを基準として各施設の231D補正係数を算出し、各施設の披検血漿のRatioに乗じるものである。「231D補正係数=MBLのLAテスト陽性コントロールのRatio÷各施設のLAテスト陽性コントロールのRatio」で求められる。これにより各施設のCV%は未補正の8.20%から3.82%に改善したとの事であった。

今回は、ほとんどの施設において外注検査として外部に委託していると思われる抗リン脂質抗体についてと言うことで、ほとんど知らなかった内容であり大変勉強になった講演であった。

（文責：庄司和春）

## テーマ 消化管超音波検査研修会 ～ 消化管エコーの系統的操作法と診断ポイント ～

主催 生理検査研究班

実施日時：平成30年 2月 9日 19時00分～20時30分

会 場：自治医科大学附属さいたま医療センター 南館 2階講堂

点数：専門教科—20点

講 師：長谷川 雄一（成田赤十字病院）

参加人数：会員65名 非会員 2名

出席した研究班班員：早川勇樹 野本隆之 家城正和 関口知詠子、田名見里恵 横尾愛

研修内容・感想など

今回の研修会では、講義を聴講することが希少な消化管超音波検査について長谷川氏に講演していただいた。まず、消化管の固定点を繋げるようにして固定されていない部位を見ていく系統的操作法の説明があった。消化管5層構造のエコー像を理解し、病変を見つけたらズーム（拡大）にして高周波プローブに換え、層構造や硬さをよく見ること、悪性の場合は臓器浸潤を見ることが大切であると分かりやすく教えていただいた。また、明日から使えるテクニックとして呼吸法、体位変換や飲水（脱気水）を勧められていた。

食道アカラシア、胃アニサキス症、胃・十二指腸潰瘍、クローン病、虫垂炎に合併する虫垂癌、腸重積症、大腸癌ステント療法など各疾患の特徴的画像を提示していただき、診断に役立つ10のポイントの中では血流評価が有用であると話された。

消化管エコーは解剖学的な特徴を理解し、部位の同定をすることが最も重要であることがよく理解できた。自分も含め、熱心に講義に聴き入る受講者の姿に非常に有意義な研修会であったと思われる。

（文責：関口知詠子）

## 求人案内 Part 1

### ○公益財団法人 埼玉県健康づくり事業団

採用条件：臨時職員（パート）

連絡先：0493-81-6043 内線4160

健診課 野寺さとみ

### ○医療法人 永仁会 入間ハート病院

採用条件：正職員

連絡先：04-2935-5097 事務室 大熊

### ○医療法人社団 和風会 所沢中央病院

採用条件：正職員

連絡先：04-2994-1265 事務長 服部 貢

### ○医療法人社団 和風会 所沢中央病院 健診クリニック

採用条件：正職員 臨時職員（パート）

連絡先：04-2997-5500 富永浩一

### ○深谷寄居医師会 メディカルセンター

採用条件：正職員 臨時職員（パート）

連絡先：048-572-2411 田畑明美

### ○一般社団法人 大宮医師会メディカルセンター

採用条件：非常勤職員

連絡先：048-665-6559 廣田・吉田

### ○株式会社ピーシーエルジャパン 病理・細胞診センター

採用条件：正職員 臨時職員（パート）

連絡先：049-234-7310 人事課 古田島

### ○特定医療法人 俊仁会 埼玉よりい病院

採用条件：正職員

連絡先：048-579-2788 事務長 井上

給与、社会保険等、詳細につきましては掲載してある連絡先にてご確認をお願いいたします。



平成29年度  
公益社団法人埼玉県臨床検査技師会  
第11回 理事会議事録

日時：平成30年2月8日(木) 19時00分より

場所：埼臨技事務所

さいたま市浦和区領家7-14-7

議題：Ⅰ. 行動報告 Ⅱ. 報告事項  
Ⅲ. 承認事項 Ⅳ. 議題

出席：(理事)津田 神山 岡田 矢作 小山  
奈良 猪浦 長岡 松岡 小島  
石井 濱本 藤井 神嶋 長澤  
伊藤 濱田 山口 阿部

(監事)遠藤

欠席：(理事)島村 武関 鳥山

(監事)細谷

本日の理事会の出席者は20名であった。理事の出席者は19名で、現在数22名の過半数に達しており、定款第33条第1項の決議を行うに必要な要件を満たしていることを確認した。

議長は、定款第32条第1項より、津田聡一郎会長が務めることとなった。

### Ⅰ. 行動報告 (平成30年1月11日～平成30年2月7日)

1月11日(木)平成29年度第10回理事会：

津田、神山、岡田、矢作、小山、奈良、猪浦、長岡、松岡、小島、石井、藤井、長澤、神嶋、伊藤、鳥山、武関、阿部、遠藤

1月12日・13日・14日(金・土・日)

日臨技平成29年度地域ニューリーダー育成研修会：阿部

1月12日(金)平成30年賀詞交歓会・各賞受賞記念祝賀会：

津田、奈良、猪浦、長岡、松岡、石井、濱本、藤井、長澤、神嶋、濱田、山口、武関、遠藤

1月13日(土)平成30年埼玉県看護協会新年懇話会：津田

1月19日(金)第2回役員推薦選考委員会：

神山、矢作

1月26日(金)第46回埼玉県医学検査学会第3回実行委員会：長岡、神嶋

1月27日(土)平成29年度日臨技初級・職能開発講習会：神山

2月2日(金)日臨技検体採取講習会事前準備：武関、矢作、奈良、小島

2月2日(金)日臨技法律改正報告会並びに賀詞交歓会：津田、神山、岡田

2月3日(土)平成29年度首都圏支部・関甲信支部人材育成研修会：

津田、岡田、小山、濱本

2月3日(土)日臨技情勢報告会・全国支部幹事会：津田、神山

2月3日(土)埼玉県医師会新年会～2018新春の集い～30周年記念式典・祝賀会：

津田、岡田

2月3日・4日(土・日)

日臨技検体採取講習会実務委員：

武関、神山、矢作、奈良、鳥山、阿部、小島

### Ⅱ. 報告事項

#### 1 事務局

1) 第29回全国介護老人保健施設大会埼玉の後援名義を行った。

2) 1月13日、平成30年埼玉県看護協会新年懇話会へ津田会長が出席した。

3) 1月19日、第2回役員推薦選考委員会が開催された。

4) 1月27日、平成29年度日臨技初級・職能開発講習会に神山副会長が出席した。

5) 2月2日、日臨技法律改正報告会並びに賀詞交歓会に津田会長、神山副会長、岡田副会長が出席した。

6) 2月3日、平成29年度首都圏支部・関甲信支部人材育成研修会に津田会長、岡田副会長、小山常務理事、濱本常務理事が出席した。

7) 2月3日、埼玉県医師会新年会(創立70周年記念)～2018新春の集い～記念式典・祝賀会に津田会長、岡田副会長が出席した。

#### 2 総務部

1) 「埼臨技だより」第465号、2月15日発行予定

#### 3 事業部

1) 1月12日、平成30年賀詞交歓会・各賞受賞記念祝賀会が開催された。

#### 4 学術部

1) 1月12日から14日、平成29年度日臨技地域ニューリーダー育成研修会が開催された。

2) 平成30年4月・5月生涯教育研修プログラムを発行予定。

#### 5 精度保証部

1) 特になし。

#### 6 会計部

1) 平成29年度正会員費5名分25,000円、入金金4名分5,000円、合計30,000円の入金があった。

2) 埼臨技だより第464号印刷代123,541円を石井印刷に支払った。

#### 7 精度管理委員会

1) 特になし。

#### 8 一都八県会長会議

1) 特になし。

#### 9 日臨技関甲信支部

1) 特になし。

#### 10 日臨技

1) 特になし。

#### 11 第46回埼玉県医学検査学会

1) 11月26日、第3回実行委員会が開催された。

### Ⅲ. 承認事項

#### 1 事務局

1) 会員動向(平成29年度分)

平成30年2月1日現在

会員数 2,901名

(新入会員 294名[平成28年度会員数2,730名])

賛助会員 86社[平成28年度 82社]

承認された。

2) 各技師養成校卒業式・入学式への対応について

各技師養成校卒業式への出席者を下記の通り決定した。

- ・文京学院大学（3月10日(土)10時より）：  
矢作常務理事
- ・東武医学技術専門学校（3月10日(土)11時より）：  
神山副会長
- ・埼玉医科大学（3月10日(土)13時より）：  
松岡常務理事
- ・西武学園医学技術専門学校（3月14日(水)13時より）：  
津田会長
- ・埼玉県立大学（3月15日(木)10時より）：  
岡田副会長

3)平成30年・31年度役員候補者の推薦について

役員推薦委員会から提出された議事録について、承認された。

2 総務部

1)特になし。

3 事業部

1)特になし。

4 学術部

1)特になし。

5 精度保証部

1)特になし。

6 会計部

- 1)平成30年賀詞交歓会会計報告について承認された。
- 2)埼臨技様式「個人番号提出依頼書」の追加について  
個人番号提出依頼書を新規作成し、今後運用していくことで承認された。

7 精度管理委員会

1)特になし。

8 第46回埼玉県医学検査学会

1)特になし。

IV. 議題

- 1)埼臨技事務所修繕、改修、新規取得資金の積み立て（案）について  
津田会長より事務所修繕・建替え、新規取得に伴う積み立て（案）について発言があった。これを受け理事会審議の結果、承認された。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

# 求人案内

## Part2

○医療法人社団 埼玉巨樹の会 新久喜総合病院

採用条件：正職員  
連絡先：0480-26-0033 内線3213  
臨床検査科 大内

○医療法人社団 協友会 彩の国東大宮メディカルセンター

採用条件：正職員  
連絡先：048-665-6166 人事課 大山

○埼玉県立小児医療センター

採用条件：臨時的任用職員  
連絡先：048-601-2200 内線2911  
事務局／総務職員担当 星野・藤平

○医療法人 大宮シティクリニック

採用条件：正職員 臨時職員(パート)  
連絡先：048-645-1256 本部長 星野

○医療法人 伊藤内科

採用条件：臨時職員(パート)  
連絡先：080-4799-4688 小島

給与、社会保険等、詳細につきましては掲載してある  
連絡先にてご確認をお願いいたします。

# あ と が き

昨日（2月27日）職場からの帰路、自転車をこいでいるとやたらと目がかゆい！今年、北日本は記録的な大雪、関東も例年以上の寒さでスギ花粉はまだでは？と思っていました。

日本気象協会の運営するサイトtenki.jpの2018年春の花粉飛散予測（第4報：2018年2月15日）によると、関東で大雪が降った翌日、1月23日と24日に関東の一部（神奈川県方面）でスギ花粉飛散開始。2月20日にはスギ花粉前線が埼玉を覆い、飛散量も昨年を上回る予想、と書かれていました。

1か月前の2月中旬、平昌オリンピックで感動の涙を流していましたが、たった1ヶ月で涙する原因がこんなに変わるとは・・・ スギ花粉終息まで約1ヶ月、頑張れ俺の目ん玉！頑張れ鼻の下！



(猪浦 記)